

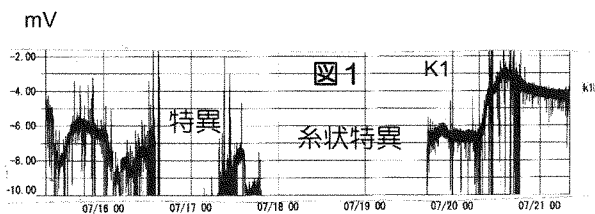
PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

続報 No.303

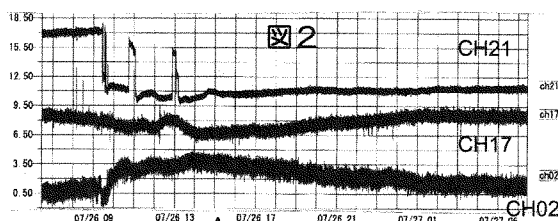
2021.07/27 (火曜) 16:00 発表

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

No.1778前兆 続報 地震発生=7/29 (誤差=7/29±1) の可能性に修正



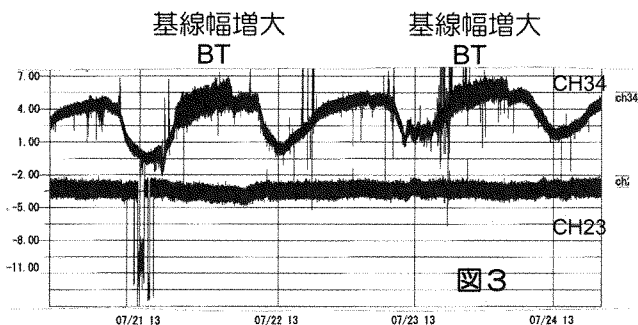
極大: 7/18.7



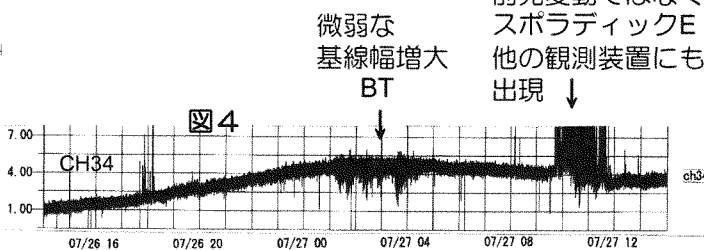
7/27午後現在
3観測装置とも
静穏基線継続中

終息: 7/26.6

発生
推定: 7/29±



極大: 7/21.5



終息: 7/27.4

発生
推定: 7/29±

No.1778長期継続前兆群の続報です。何度も修正で大変申し訳ありません。終息したと認識された複数観測装置に前兆変動が再出現し、前号までの認識が誤りであることが明確となりました。しかし、図2のとおり、CH21、CH17、CH02の特異が昨日7/26昼過ぎに終息し、現在7/27午後まで完全静穏基線を記録しています。7/26.6±に明らかな前兆終息が認識されます。図1の7/18.7ピークのK1特異に対応させますと、7/29±発生が計算されます。

また、報告しておりませんでした。図3のとおり、7/21昼頃に八ヶ岳南麓のCH23に明確な特異が出現しています。この直後から図3上基線のとおり、八ヶ岳のCH34に基線幅増大BTが出現しています。BTは図3の2回のみで、7/24、7/25、7/26には出現しませんでした。本日7/27未明に微弱に再出現しました。7/21.5ピークのCH23特異に対し、7/27.4終息の可能性が示唆されます。この関係からも7/29±発生が計算されます。

他の観測装置の前兆変動が全て静穏化し、正常基線を記録している中、左図5基線のとおり、八ヶ岳のCH29観測装置のみ、特異変動がまだ出現しています。本日7/27.2の変動は大きくピークに見えます。仮に7/29発生の場合にはCH29の変動は7/28深夜まで継続する可能性が計算されます。この終息を確認していませんと、現在再認識から推定される発生になってしまいますため、確認できていませんが、修正続報として報告させていただきます。今まで何度も各ステージでの推定時期に前兆変動の極大が観測されるというパターンが観測されてきました。発生しない場合は再考し、続報させていただきます。

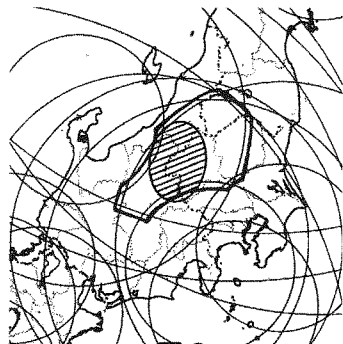
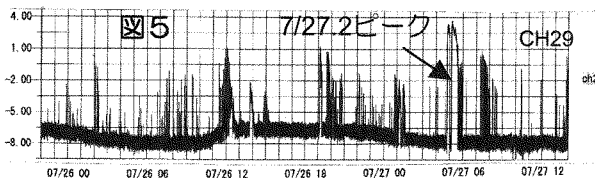


図6

- ◆ 推定領域: 図6太線内領域・斜線域参考
斜線域=浅間山・白根山等火山近傍
- ◆ 推定規模: M8.0±0.3
M7クラス複合の可能性も若干有
- ◆ 推定時期: 07月29日 発生の可能性
誤差: 07月29日±1
8/1迄に発生無い場合は再考予定
- ◇ 推定地震種: 震源浅い陸地地殻地震
- ◇ 推定発生時刻: 午前09時30分±1時間30分
または午後05時±3時間

C) Copyright 2021 YSBO 八ヶ岳南麓天文台